

# 防犯的とマンション管理、地域コミュニティ

マンションコミュニティ研究会 村澤優子、渡辺恭子

「マンションは、玄関の鍵一つで戸締りでき、快適で安全な住まい」です。お住まいの玄関ドアまでに、外から敷地の境界、敷地から建物内の境界、建物内部から専有部分までの境界と、2重3重にガードされています。オートロックのあるマンションは、より安全イメージがあります。けれど、オートロックを過信してはいけないということは、常識になっていますね。マンションの安全な居住環境を維持するために、居住者・管理組合がなすべきことは何かを学び、実践しましょう。

1. 過去の犯罪は繰り返されます。実例から学び、備えましょう。

【実例】

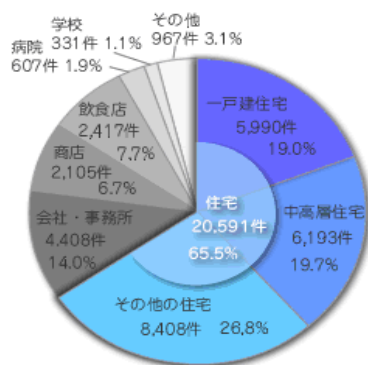
11日午前10時45分頃、名古屋市のレストランで28歳の母親が生後4ヶ月の娘とオートロックの鍵を開けて1階ホールに入ったところ、一緒に入ってきた男が「金を出せ」と脅した。

8日午後10時20分頃、福岡市のアパートで、この部屋に住む女子大学生(22)がベランダの窓をあけたところ刃物を持った男がいて「騒ぐな、金を出せ」と脅された。

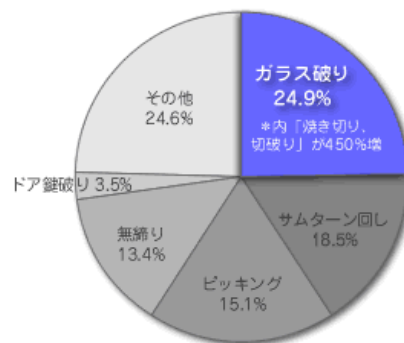
5日午前2時50分頃、東京都千代田区でマンションに住む男性が帰宅して玄関のドアを開けたところ、突如後ろから男に襲われた。男は男性の財布を奪った後、「もっと金を出せ」などと脅して室内に入り、さらに現金を奪った。

2. 侵入盗の発生率は、一戸建てよりマンションのほうが上回っています。閉ざされた空間で、人の目が行き届かない、お巡りさんもオートロックに阻まれて入ってこれないのがマンション空間です。設備を整えるとともに、各自の自覚とマンション全体のセキュリティ力(=コミュニティ力)を高めること、これが安全なマンション環境を作る基本です。

侵入盗の現場別発生状況



マンション対象空き巣の侵入手段



・・・つづく・・・